

ガーデンハウスよどえ 令和4年度 介護・医療連携推進会議報告書

事業所名	サービス付き高齢者向け住宅 ガーデンハウスよどえ			
開催日	令和4年 12月 2日			
開催場所	ガーデンハウスよどえ			
出席者	長寿社会課職員	1名	病院看護師	1名
	地域住民代表	1名	利用者家族	1名
	地域包括支援センター	1名	事業所職員	3名

利用状況（令和4年10月末時点）

【利用者数】

※利用者はガーデンハウスよどえ入居者のみ

【利用種別】

	人数	平均介護度	平均年齢
男性	5名	1.60	80.8歳
女性	23名	2.91	89.3歳
全体	28名	2.67	87.8歳

介護看護	介護のみ
16名	12名

開始	新規	4名
	再開	0名
	再利用	0名

終了	終了	5名
	中断	1名

事故・苦情報告（令和4年4月～10月）

- 〈事故〉
- 転倒事故3件報告 いずれも居室内で一人の時に転倒。内1件は大腿部骨折受傷あり、病院に入院となる。リハビリ病院にてリハビリ後ガーデンハウスに戻られる予定。ご本人の行動を予測して福祉用具を設置し、安全に移動できる環境を整備して再度生活していただく予定。
 - 誤薬事故2件報告 いずれも職員のミスで薬を重複してしまった事例。確認不足や情報共有不足によって発生したと思われる為、服薬確認手順を変更して再発防止に努める。
 - 異食事故1件報告 認知症やパーキンソン病のあるご利用者が掃除シートをパンだと勘違いして口に入れてしまわれる。すぐに職員がみつけ口から出してもらった為、体調変化なし。持病の進行も考えられるため主治医に相談し、専門医の受診を行う。口に入れて危険なものは一時的に預からせていただく。
- 〈苦情〉
- ご本人の金銭管理について妹様より問い合わせあり。数か月のお金の減り具合に不信感を抱いておられる様子であった。
⇒直ぐに妹様ご夫婦と施設職員で面談実施。ここ数か月のご本人のお金の使用状況を概算で説明。今後の金銭管理について相談し、双方が納得いく形で妹様の管理とする。

行事・出来事

4月 お花見カフェを開催 中庭にテントを設置し、桜を鑑賞しながらお茶会を楽しんでいただいた。

9月 敬老会を開催 長寿の表彰や撮影スポットを作成して写真の撮影などを行った。

11月 秋のお茶会を開催 秋らしいお菓子やお茶を提供し楽しんでいただいた。

ご意見

- コロナ禍で家族が居室内に入れない状態が続いている。居室内の状況を確認したり整理したりしたい。すぐには無理かもしれないが本人がいない時間帯なら可能だとか何か検討してほしい。
- 利用者もコロナに慣れてきているところもある。国の方針も変わりつつあるので、利用者の笑顔を一番大事にしてほしい。
- ガーデンハウスは看板がなく分かりにくいとのご意見をいたがくが、地域から見るとどうか。
⇒近隣住民は大体把握はしていると思うが、初めて来る方にはわかりづらいと思う。やはり何かしらの看板はあった方がいいと思う。

その他

- 来年1月からはガーデンハウスよどえ、ル・サンテリオンよどえ、米子東病院合同で広報誌を発行する予定となっている。地域を支えていく資源としてより3施設が一体となって動いていきたいと考えている。